

中学道德教科書 藤沢市教育委員会

光村図書を採択 市民の意見、学校現場の意向を取り上げ議論

8月1日、藤沢市教育委員会は藤沢市民会館で臨時会を開き、来年度から使用する中学校の道德教科書に、光村図書を採択しました。

各委員が適切と考える理由と推薦する教科書を上げる形で進行。1回目では5人の委員全員が東書と光村を、2名の委員がさらに学研を推薦(表参照)。2回目は東書と光村に絞って意見を出し合い、4人が光村、1人が東書となり、合議で光村を採択しました。(下右の表は委員が推薦した教科書 ふじさわネット作成)

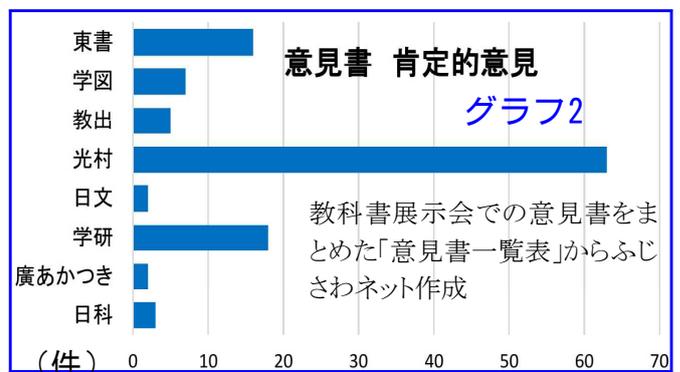
委員は、「要望書に目を通した」「市民の意見書に、先生方の意見を大事にしてほしいとあり、これは、とても大事な視点だと思っている」「先生方(中学校長提出の調査書)や展示会での市民の意見書を参考にした」「始めに結論ありきのように、結論に導いていくのはふさわしくない」と発言。委員は市民の意見や学校現場の意向をくみ取りながら自らの意見を形成。また、考え議論する教科書が良いとしました。



採択された光村図書の教科書の表紙(3年生)

〈神奈川新聞8/2〉(藤沢市教育委員会は)最終的に「考えを深めたり、視野を広めたりできる」「身近な生活につなげられるよう工夫されている」「現場の先生から評価する声が多く上がった」などの理由から、光村図書出版を採択した。

教育委員氏名	一回目		二回目
飯島 広美	東書	光村	光村
小竹 伊津子	東書	光村	光村
中林 奈美子	東書	光村	学研
大津 邦彦	東書	光村	学研
平岩 多恵子	東書	光村	光村



市民の力 展示会来会316名、意見書記入207名 酷暑の中傍聴希望143名

臨時教育委員会の傍聴定員100席に、酷暑の中にもかかわらず143名(ふじさわネット調べ)が希望、抽選に外れた人は小ホールで音声傍聴。また、市役所と19の中学校で開かれた教科書展示会への来会者数は合わせて316名、意見書記入数は207名。市民の関心の高さが示されました。この意見書は「意見書一覧表」としてまとめられ公開されています(裏面参照)。

中学校長提出の調査書から作成したグラフ1では光村と東書、教科書展示会での市民の意見書から作成したグラフ2では光村と学研の支持が多くなっていることがわかります(☆詳しくはネット通信第33号参照)。審議は光村、東書、学研を中心に進められました。市民の意見と学校現場の意向への配慮が見られます。

懇談と二つの要望書 みんなの教育・ふじさわネットは5月、教育委員会事務局と教科書採択や小学校英語などの教育課題について懇談。採択する委員会の広い会場での開催、情報公開を早くすることなどを求めました。

6月、採択審議委員会に「審議のまとめ」を作成すること、調査書と意見書をとりあげて審議すること等を、また7月、教育長に審議会の答申「審議のまとめ」と調査書の内容を取り上げ尊重して審議、採択すること等を要望しました。

今回は、展示会の日曜開場(市役所)や会議日程・会場、資料(答申や意見書一覧、調査書まとめ、会議録等)の早い情報公開が実現しました。また、採択審議委員会の答申は「発行業者別審議のまとめ」になりました。

〈委員会を傍聴しての感想〉



「道徳教育の未来？」

光村図書の教科書が採択された。

この教科書によって、「道徳」はひとつの正しいことを教え込まれることでなく、一つのことの関しても、いろいろな立場・考え方があることを学んで行けるのだと思う。

そして、一人ひとりの個人の中でさえ、もしかすると、二つの基準のどちらかを選ぶことが出来ず、矛盾を共存させてしまうこともおきるかもしれない。反対・強弱・味わい・色合い、色々な「でじこじ」を抱え込むことになるかもしれない。

でも私は考える。その「でじこじ」こそが未来の成長の過程の中で、より豊かな基準と方向を創り出すことになるのではないかしら。

「道徳教育」を考えるこの数か月の間に、二人の方からそれぞれ「教育ではなくて協育」「授業ではなくて授業」という発想を教わった。もしかすると、この道徳教育は、教育の質まで変えることが出来るのではないかしら？

その可能性を想像し、少しの曙光も見えたような気がした。

それにしても、この間の「みんなの教育・ふじさわネット」の運動に、敬意と感謝。その運動に私自身の「蒙が啓」かれたことがいっぱいありました。(RIさん)

藤沢市の教科書採択の委員会を傍聴しました。今回の委員会で印象に残ったのは、「現場の先生の意見を尊重する」「市民の意見」「現場の先生たちが指導しやすい」などの意見が多かったことです。それは実際に教科書を使用する先生や生徒たちのことを考えれば、当たり前のことですが、今までの教科書採択の一部で、そうではない決定をされてきたことがあります。

道徳が教科となることで、先生たちの負担はますます増えると思いますが、少しでも使いやすい教科書に決定したことはとてもよかったです。

教育委員や教育長が代わっても、今後もこのような方針で教科書を採択していただきたいと思います。(EMさん)

「あれ？顔が見えない」の戸惑いで始まった。これでは音声しか聞こえないホールと大して違いがない。しかもどの発言者も、予め書かれた原稿を棒読みにしているだけで感情が聞き取れない。でも、文句を言うのはおこがましいのかもしれない。以前よりずっと公開度が広がっているのだから。

日本教科書が外れたことにほっとしているうちに、(来年度使用の小学校教科書は)指導要領の改正まで2年だから現行のものをそのまま続けて採択とする、という案が全員一致で決まった。新しい採択(中学道徳)では市民の意見や審議会の意見を取り入れて採択したと言っていた委員たちなのに、現行の教科書を使用している現場の先生や保護者の意見は聞けなかったのだろうか。来年度の中学の教科書(採択)も同じ手順で決められるとしたら大変だ。ぜひ現場の先生方がどれほど苦しんでいるか知って、育鵬社だけでも採択替えを願いたい。(MOさん)

平岩教育長は、(教育ネットが出した)「要望書に目をとおしたこと」、「多くの市民の意見書に、先生方の意見を大事にしてほしい、とあり、これは、とても大事な視点だと思っている」と。

中林委員は「先生方や展示会での市民の意見書を参考にした」。

飯島委員は「始めに結論ありきのように、結論に導いていくのはふさわしくない。」「審議委員会のまとめは活用しやすい。東書と光村は、審議会答申と合致している。市民の意見書の傾向とも、違いは無い。」と。

教育委員会の良識をつくり、支えた運動に、確かな前進を感じました。実際、中学校でも、道徳の教科書を使った授業が行なわれます。「心」の強制はさせない、現場の先生方への「強制」は、させない、ということへの気持ちも固めました。

そして、育鵬社採択の2011年、2015年はいったい何だったのか。次の中学校教科書採択では、育鵬社NO!の気持ちも強く持ちました。(SMさん)

ホームページ (HP)の活用

藤沢市教育委員会のホームページ(HP)には、今年度の中学道徳教科書の採択にかかわる12の文書(下左)が公開されています。情報の宝庫です。見る方法は下右に。



- ①平成31年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会の審議方針について
- ②藤沢市教科用図書採択審議委員会規則
- ③平成31年度使用藤沢市教科用図書の採択方針
- ④平成31年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会委員名簿
- ⑤平成31年度使用藤沢市教科用図書に関する審議について(諮問)
- ⑥第1回平成31年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会会議録
- ⑦中学校「特別の教科 道徳」に係る中学校用(平成31・32年度用)『調査資料』
- ⑧平成31年度使用教科用図書調査書まとめ
- ⑨平成31年度使用教科用図書意見書一覧表
- ⑩平成31年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書 調査書まとめ
- ⑪第2回平成31年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会会議録
- ⑫平成31年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果について(答申)

ここに! Googleなどで「[藤沢市教育委員会教育指導課](#)」を検索、[教育指導課](#)をクリックし HP を開きます。

「[新着情報](#)」にある「[平成31年度使用藤沢市教科用図書採択](#)」をクリック、関連ページが開きます。

文書は [pdf ファイル](#) です。無料でダウンロードできる、[Adobe Reader](#) でファイルを開き、読むことができます。